

株主の 皆さまへ

2016年度報告書

2016年4月1日から2017年3月31日まで



Contents

ごあいさつ	2
トピックス	4

事業概況

懸架ばね事業	6
シート事業	7
精密部品事業	8
産業機器ほか事業	9

決算情報

連結情報

連結貸借対照表	10
連結損益計算書	11
連結キャッシュ・フロー計算書	11
連結株主資本等変動計算書	11
業績の推移(連結)	12

単独情報

貸借対照表	13
損益計算書	13
株主資本等変動計算書	13
業績の推移(単独)	14

株式概況	15
役員・株価の推移	15
当社概要・グループ概要・株主メモ	裏表紙

ごあいさつ



代表取締役社長

代表取締役会長

茅本 隆司 玉村和己

当社グループの2016年度報告書をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

当連結会計年度における日本経済は、設備投資に足踏み感がありましたが個人消費や輸出の持ち直しの動きと雇用・所得環境の改善などから、緩やかな回復基調が続きました。また対米ドル円レートは、当初米国の利上げ観測の後退や英国のEU離脱問題に伴う先行き不透明感の高まりなどから前期と比べ大幅な円高で推移しましたが、米国での経済政策に対する期待などから11月以降は円安局面となりました。

世界経済につきましては、米国では個人消費の増加や設備投資の持ち直しの動きから景気回復が続き、政策金利の引き上げも実施されました。アジア地域においては、中国では輸出に弱い動きがありましたが小型車減税の効果もあり消費は堅調に推移しました。タイやインドでも景気の緩やかな回復がみられました。

当社グループの主要な事業分野であります自動車関連は、国内販売では軽自動車が不振であった一方登録車は新車投入効果などで堅調に推移したことから、5,078千台で前期比2.8%の増加となりました。完成車輸出は、4,636千台で前期比1.2%の増加となりました。国内の自動車生産台数は、9,360千台で前期比1.9%の増加となり

ました。

また、もう一方の主要な事業分野であります情報通信関連は、データセンター向けは堅調なものパソコン向けが減少したことにより、HDD(ハードディスクドライブ)の受注は前期比で減少しました。

以上のような経営環境のもと、海外事業での円高による円換算額の減少等により、売上高は626,950百万円(前期比2.1%減)となりました。また収益面では、合理化努力や受注車種構成の変化等により、営業利益は40,613百万円(前期比15.9%増)、経常利益は41,640百万円(前期比15.3%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は25,098百万円(前期比16.2%増)となりました。

なお、当期の期末配当金は1株につき12円とし、昨年12月にお支払いしました中間配当金11円とあわせて、年間では23円といたしました。

株主の皆さまにおかれましては、今後も変わらぬご支援を賜りますよう、よろしく願い申し上げます。

2017年6月

2016～2017年 **ニッパツグループ** の動き

①国内・海外へさらに積極展開

当社グループは、国内・海外の双方に積極的に事業展開を進めています。

伊勢原、新生産棟の起工式

2016年6月2日、伊勢原工場の新生産棟の起工式を行いました。半導体製造装置向け製品の増産を機に、生産エリアを整理して、さらなる生産性向上を図るものです。その後、同年12月に完成し、順次、移管作業を進めています。

NHKインター、開所式と創立記念式典

米国の地域本社であるNHKインターナショナルが、新事務所の開所式と創立40周年記念式典を開催しました。多くの取引先、地元関係者などが出席しました。

群馬、新ウレタン棟の竣工式

群馬工場の新ウレタン棟が完成し、2016年6月、竣工式を行いました。工場再構築に伴い、ウレタン生産の新ラインも敷設しました。品質および生産性のさらなる向上につながるものと期待されます。



完成した新ウレタン棟

ニッパツ九州、開所式

2016年8月、ニッパツ九州が、西日本の自動車メーカー各社の方々などを招き、開所式を行いました。懸架ばね事業の西日本の新たな拠点として、海外輸出なども視野に入れた事業を展開していきます。



稼働を開始したニッパツ九州

ニッパツハンガリー、開所式

2016年9月、ニッパツハンガリーが開所式を行いました。開所式の様子は、テレビや地元誌、官庁のホームページでも紹介され、ニッパツハンガリーへの期待の高さを感じさせました。



開所式ではワイン騎士団がワイン樽を開栓

②トップアスリートを支援 従業員にも連帯意識

当社は、2017年4月19日に、神奈川県横浜市の横浜シンポジウムで開催された、公益財団法人日本オリンピック委員会（JOC）のトップアスリートの就職支援ナビゲーション「アスナビ」説明会にて、採用企業事例を紹介しました。横浜市では初開催となる今回の説明会は、横浜市、横浜商工会議所、横浜市体育協会の共催で行われ、54社63名が参加しました。

当社は、「アスナビ」を通じて陸上競技の宮坂楓選手（三段跳）、平加有梨奈選手（走幅跳）、竜田夏苗選手（棒高跳）を採用しました。アスリート採用で得られた「従業員の連帯意識」効果、競技と業務の両立、当社の支援・応援体制を説明しました。今後もトップアス

リートを支援していくとともに、計画的に継続して雇用していきたいと考えています。

※当社所属選手を「ニッパツアスリートサイト」で紹介しています。

<http://nhkspg-athlete.com/>



アスナビ採用企業事例発表



三段跳 宮坂楓



走幅跳 平加有梨奈



棒高跳 竜田夏苗



ニッパツ横浜FCシーガルズ
大島瑞稀

各地で 様々な地域貢献

当社グループは、各地で、その地域に応じた貢献活動を行っています。当社本社のある横浜事業所では、昨年に続き、休日を利用して、当社がネーミングライツを契約する「ニッパツ三ツ沢球技場」のある三ツ沢公園とその周辺の清掃活動を行いました。今回は、横浜市が進めていた「全国都市緑化よこはまフェア」に協賛し、同球技場を花で飾るなどの支援を行いました。



横浜事業所：公園の清掃活動とともに行った緑化の支援

ニッパツの国内グループ会社で組織する日発睡会は社会貢献活動の一環として、当社横浜事業所隣にある横浜市立大学附属病院に車いすを2台寄贈しました。当社グループ社員から提供された古本の販売収益金をもとに、毎年、同病院に寄贈しているもので、2016年で18回目になります。当社およびグループ各社ではその他の地域でも、環境美化活動を中心に、地域の行政やNPO法人などと連携し、地域に根ざした活動を展開しています。



贈呈した車いすを前に小島総務部会長（左）と相原病院長

全日本学生フォーミュラ 20を超える大学を支援

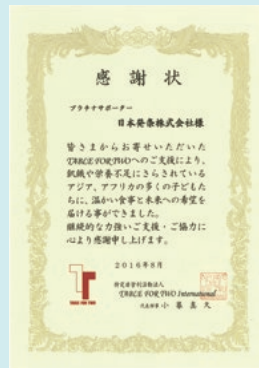
当社は、毎年9月に開催される自動車技術会主催の「全日本学生フォーミュラ大会」に協賛・支援しています。学生が自作するクルマで競うこのイベントに、大会協賛のほか、各大学からの依頼に基づき、主にダンパー用のばねを無償提供しています。2017年度は、さらに新たな大学からの依頼も受け、これに対応しています。前途有望な学生の活動を積極的に支援しています。



当社提供のばねが搭載された学生自作のクルマ

TFTよりプラチナ サポーター賞を受賞

2016年8月5日、当社はTABLE FOR TWO（以下TFT）からプラチナサポーター賞を受賞しました。TFTは、飢餓に苦しむ途上国と、肥満などに悩む先進国との食の不均衡の解消を目指す社会貢献活動です。今年、国内の全工場での導入が完了したことから、TFTの支援に最も貢献している企業の一つとして表彰を受けたものです。今後は、海外を含めたグループでの展開を検討していきます。



TFTからの感謝状



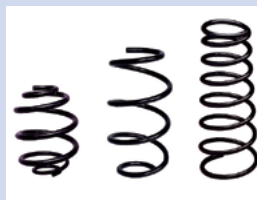
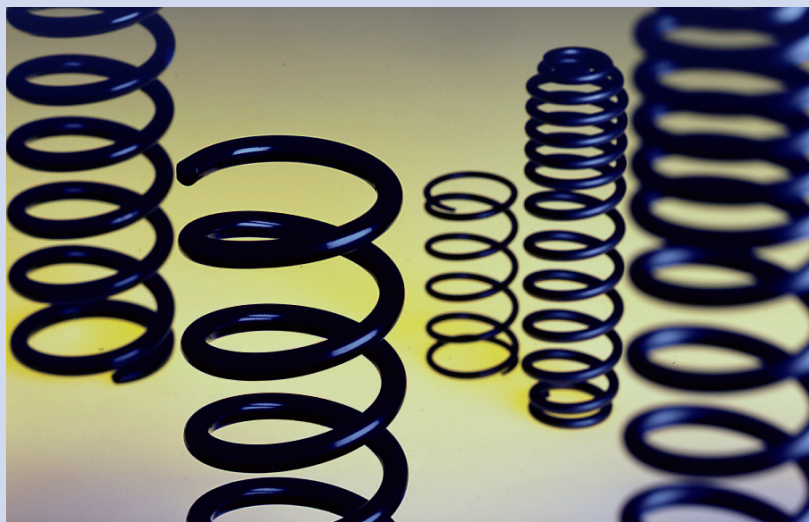
大会ではブースに出展し、当社をPR

懸架ばね 事業

当連結会計年度における懸架ばね事業は、円高の影響等により、売上高は119,542百万円(前期比4.0%減)、営業利益は11,533百万円(前期比4.4%減)となりました。

主要製品

- コイルばね ● スタビライザ
- 板ばね ● トーションバー
- スタビライザリンク ● ベローズ
- スタビリンカーほか



コイルばね

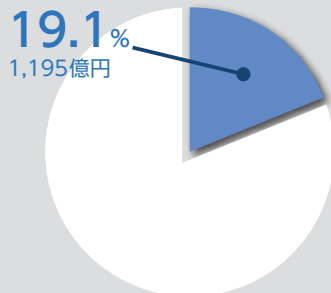


スタビライザ

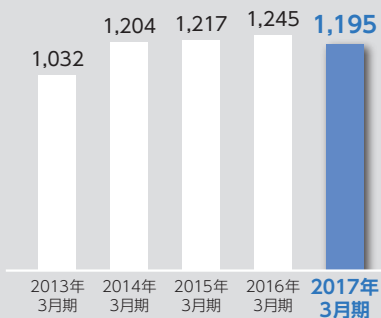


テーパリーフスプリング

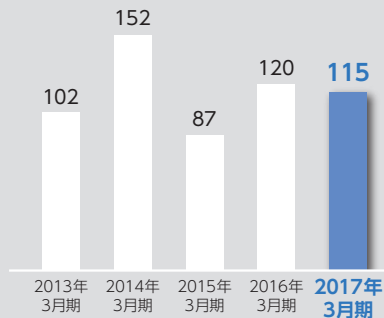
● 懸架ばね事業の売上高・構成比



● 売上高の推移(億円)



● 営業利益の推移(億円)

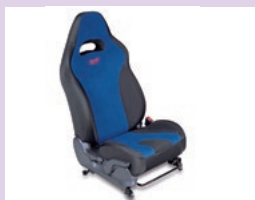


シート 事業

当連結会計年度におけるシート事業は、円高の影響等により、売上高は285,924百万円(前期比3.4%減)となりました。営業利益は、合理化努力や受注車種構成の変化等により、13,984百万円(前期比42.4%増)となりました。

主要製品

- 自動車用シート ●シート用機構部品
- 内装品ほか



乗用車用スポーツシート



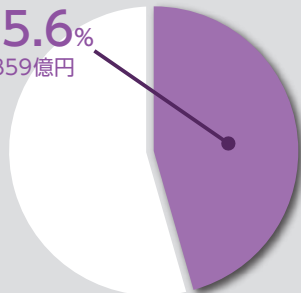
NHKシーティングオブアメリカの自動車用シート組立てライン



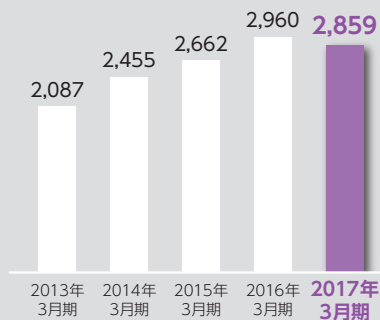
タイニッパツの自動車用シート組立てライン

●シート事業の売上高・構成比

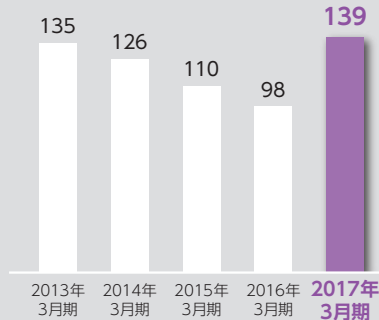
45.6%
2,859億円



●売上高の推移(億円)



●営業利益の推移(億円)

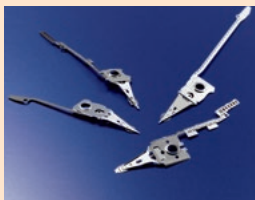


精密部品 事業

当連結会計年度における精密部品事業は、HDD用部品の数量減と円高の影響等により、売上高は139,086百万円(前期比2.7%減)、営業利益は9,605百万円(前期比4.6%減)となりました。

主要製品

- HDD用サスペンション
- HDD用機構部品 ● 線ばね
- 薄板ばね
- 液晶・半導体検査用プローブユニット
- ファスナー(ねじ) ● 精密加工品ほか



HDD用サスペンション

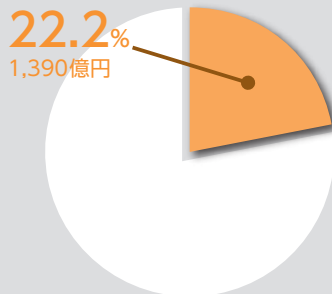


HDD用機構部品

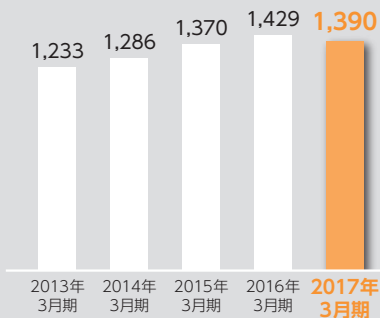


各種精密部品

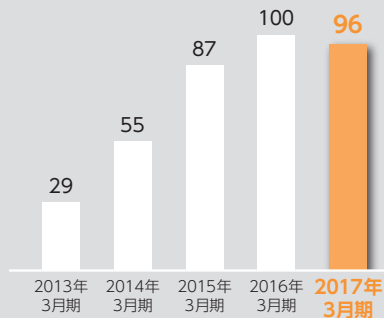
● 精密部品事業の売上高・構成比



● 売上高の推移(億円)



● 営業利益の推移(億円)



産業機器 ほか事業

当連結会計年度における産業機器ほか事業は、売上高は82,396百万円（前期比7.0%増）、営業利益は5,489百万円（前期比78.2%増）となりました。

主要製品

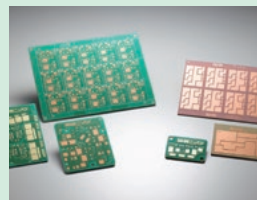
- ろう付製品
- セラミック製品
- ばね機構品
- 配管支持装置
- 駐車装置
- ポリウレタン製品
- 金属ベースプリント配線板
- セキュリティ製品
- 照明器具
- ゴルフシャフトほか



ろう付製品



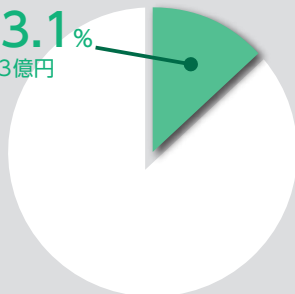
テンションバランス



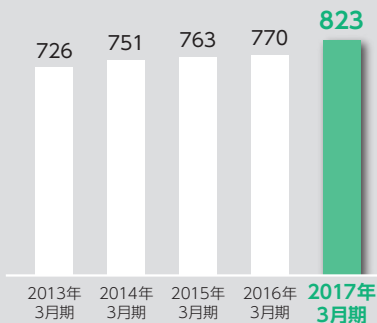
金属ベースプリント配線板

● 産業機器ほか事業の売上高・構成比

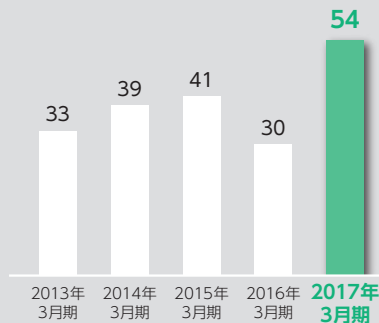
13.1%
823億円



● 売上高の推移(億円)



● 営業利益の推移(億円)



決算情報 (連結)

連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	2017年3月期	2016年3月期	科目	2017年3月期	2016年3月期
資産の部	541,741	509,810	負債の部	248,963	239,972
流動資産	294,751	276,834	流動負債	180,525	174,407
現金及び預金	82,575	72,553	支払手形及び買掛金	76,911	81,660
受取手形及び売掛金	140,342	133,422	電子記録債務	38,992	29,561
棚卸資産	44,036	43,286	短期借入金	13,996	9,145
繰延税金資産	5,304	5,135	その他	50,625	54,039
その他	22,548	22,570	固定負債	68,438	65,565
貸倒引当金	△56	△133	転換社債型新株予約権付社債	11,219	11,268
固定資産	246,989	232,976	長期借入金	20,176	16,917
有形固定資産	143,817	145,636	リース債務	519	481
建物及び構築物	48,172	48,121	繰延税金負債	12,978	7,968
機械装置及び運搬具	50,269	46,000	退職給付に係る負債	13,926	24,216
土地	30,699	31,483	その他	9,618	4,713
リース資産	576	494	純資産の部	292,777	269,837
建設仮勘定	5,989	12,026	株主資本	245,305	232,090
その他	8,109	7,510	資本金	17,009	17,009
無形固定資産	3,312	4,307	資本剰余金	19,579	19,404
投資その他の資産	99,858	83,032	利益剰余金	216,232	196,477
投資有価証券	72,086	61,031	自己株式	△7,515	△801
長期貸付金	10,383	8,830	その他の包括利益累計額	34,394	25,152
繰延税金資産	5,532	5,438	その他有価証券評価差額金	30,176	21,513
退職給付に係る資産	2,825	—	為替換算調整勘定	6,570	9,442
その他	10,116	8,472	退職給付に係る調整累計額	△2,353	△5,803
貸倒引当金	△1,084	△740	非支配株主持分	13,077	12,594
資産合計	541,741	509,810	負債純資産合計	541,741	509,810



連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	2016年4月 ~2017年3月	2015年4月 ~2016年3月
売上高	626,950	640,516
売上原価	542,830	561,668
販売費及び一般管理費	43,505	43,806
営業利益	40,613	35,041
営業外収益	4,028	5,301
営業外費用	3,001	4,230
経常利益	41,640	36,111
特別利益	1,064	—
特別損失	5,035	2,539
税金等調整前当期純利益	37,669	33,571
法人税等	10,744	10,257
非支配株主に帰属する 当期純利益	1,826	1,721
親会社株主に帰属する 当期純利益	25,098	21,592

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	2016年4月 ~2017年3月	2015年4月 ~2016年3月
営業活動によるキャッシュ・フロー	55,664	42,674
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 27,753	△35,127
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 16,916	△13,672
現金及び現金同等物に係る 換算差額	△ 739	△5,075
現金及び現金同等物の 増減額(減少は△)	10,255	△11,200
現金及び現金同等物の 期首残高	72,238	83,439
現金及び現金同等物の 期末残高	82,493	72,238

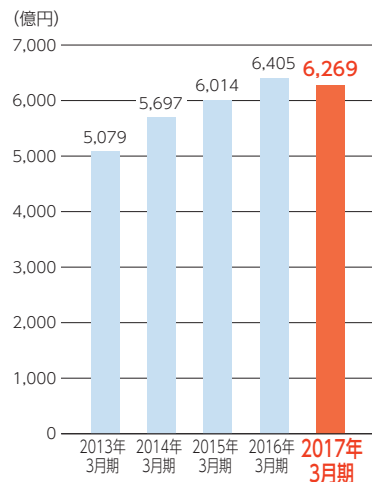
連結株主資本等変動計算書

(単位:百万円)

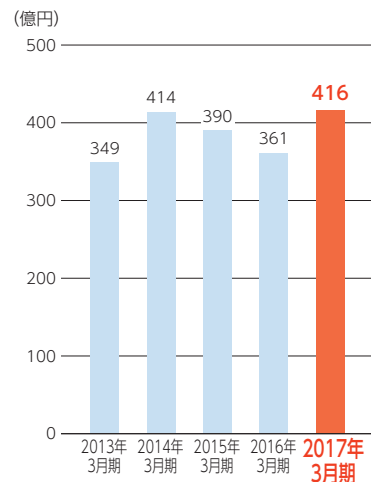
	株主資本					その他の包括利益累計額				非支配 株主持分	純資産合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己 株式	株主 資本合計	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括 利益累計額合計		
2016年4月1日残高	17,009	19,404	196,477	△801	232,090	21,513	9,442	△5,803	25,152	12,594	269,837
連結会計年度中の変動額											
剰余金の配当			△5,343		△5,343						△5,343
親会社株主に帰属する当期純利益			25,098		25,098						25,098
自己株式の取得				△6,714	△6,714						△6,714
自己株式の処分		0		0	0						0
非支配株主との取引に係る親会社の 持分変動		174			174						174
株主資本以外の項目の 連結会計年度中の変動額(純額)						8,663	△2,871	3,450	9,241	482	9,724
連結会計年度中の変動額合計	—	174	19,755	△6,714	13,215	8,663	△2,871	3,450	9,241	482	22,939
2017年3月31日残高	17,009	19,579	216,232	△7,515	245,305	30,176	6,570	△2,353	34,394	13,077	292,777

業績の推移 (連結)

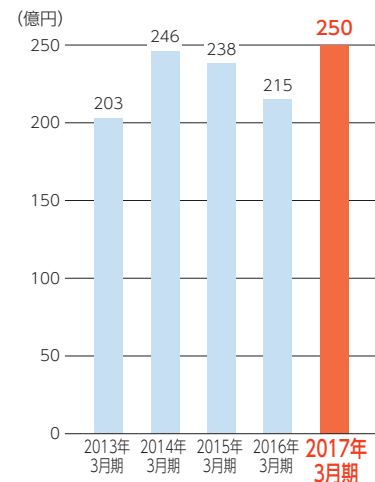
売上高



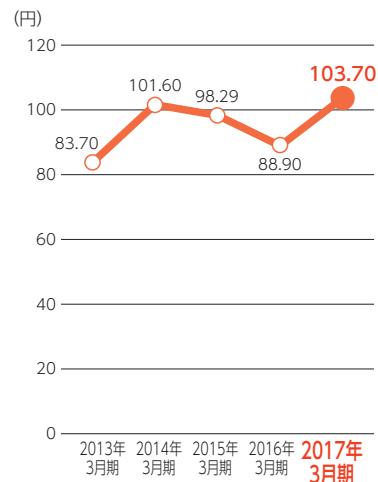
経常利益



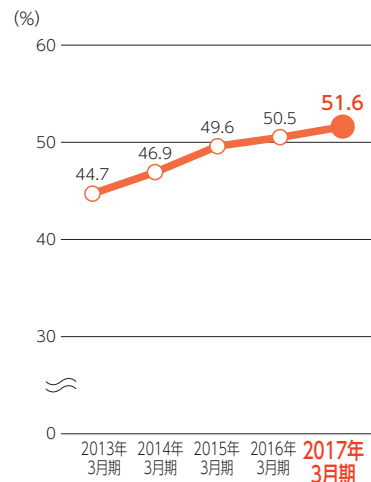
親会社株主に帰属する当期純利益



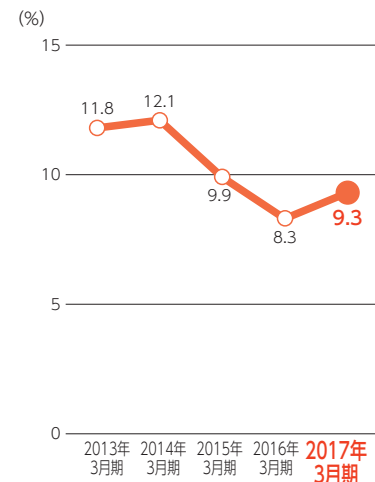
EPS (1株当たり当期純利益)



自己資本比率



ROE (自己資本当期純利益率)





貸借対照表

(単位: 百万円)

科目	2017年3月期	2016年3月期
資産の部	355,177	329,194
流動資産	153,898	149,836
固定資産	201,278	179,358
資産合計	355,177	329,194
負債の部	180,423	168,508
流動負債	133,609	128,960
固定負債	46,814	39,547
純資産の部	174,753	160,686
株主資本	145,669	139,895
評価・換算差額等	29,083	20,790
負債純資産合計	355,177	329,194

損益計算書

(単位: 百万円)

科目	2016年4月 ~2017年3月	2015年4月 ~2016年3月
売上高	281,620	271,715
売上原価	246,529	237,222
販売費及び一般管理費	19,752	19,168
営業利益	15,337	15,324
営業外収益	9,421	8,645
営業外費用	3,151	3,413
経常利益	21,608	20,556
特別利益	1,064	—
特別損失	747	3,073
税引前当期純利益	21,925	17,482
法人税、住民税及び事業税	4,590	4,050
法人税等調整額	△496	326
当期純利益	17,832	13,106

株主資本等変動計算書

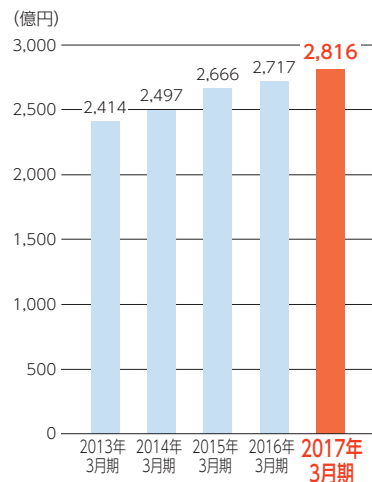
(単位: 百万円)

	株主資本					評価・換算 差額等	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計		
2016年4月1日残高	17,009	19,314	104,285	△714	139,895	20,790	160,686
事業年度中の変動額							
剰余金の配当			△5,343		△5,343		△5,343
当期純利益			17,832		17,832		17,832
自己株式の取得				△6,714	△6,714		△6,714
自己株式の処分		0		0	0		0
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額 (純額)						8,292	8,292
事業年度中の変動額合計	—	0	12,488	△6,714	5,774	8,292	14,066
2017年3月31日残高	17,009	19,314	116,774	△7,429	145,669	29,083	174,753

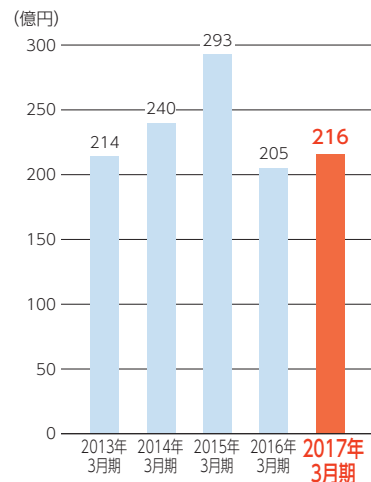
業績の推移 (単独)



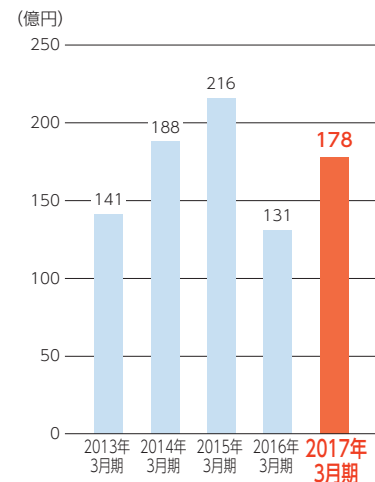
売上高



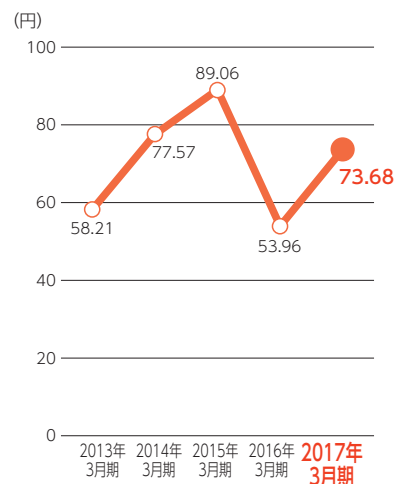
経常利益



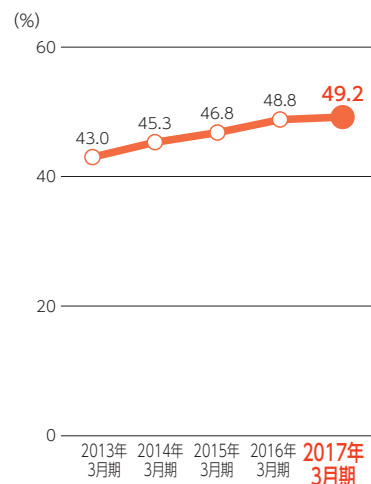
当期純利益



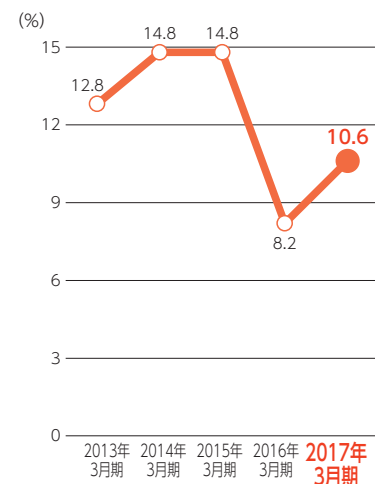
EPS (1株当たり当期純利益)



自己資本比率



ROE (自己資本当期純利益率)



株式概況

役員・株価の推移

株式の状況

(2017年3月31日現在)

発行可能株式総数	600,000,000株
発行済株式総数	244,066,144株
株主総数	10,715名

大株主

(2017年3月31日現在)

株主名	所有株式数 (千株)	持株比率 (%)
三菱UFJ信託銀行 退職給付信託 大同特殊鋼 共同受託者 日本マスタートラスト信託銀行株式会社	22,392	9.44
双 日 株 式 会 社	13,199	5.56
NORTHERN TRUST CO.(AVFC) RE THE KILTEARN GLOBAL EQUITY FUND (常任代理人 香港上海銀行東京支店)	10,509	4.43
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 神戸製鋼所 再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社	9,504	4.00
大 同 特 殊 鋼 株 式 会 社	8,507	3.58
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	8,463	3.56
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	7,811	3.29
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 みずほ銀行 再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社	5,753	2.42
株 式 会 社 横 浜 銀 行 (常任代理人 資産管理サービス信託銀行株式会社)	5,718	2.41
株 式 会 社 メ タ ル ワ ン	5,559	2.34

※持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

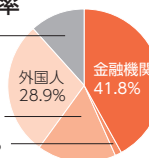
※当社は、自己株式6,973,371株を保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。

株式の分布状況

(2017年3月31日現在)

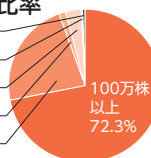
所有者別株数比率

個人・その他	11.5%
(自己株式を含む)	
外国人	28.9%
その他国内法人	16.5%
金融商品取引業者	1.3%



所有数別株数比率

100株以上	0.3%
500株以上	0.2%
1千株以上	3.3%
5千株以上	1.5%
1万株以上	22.5%
100万株以上	72.3%



中間配当

2016年11月9日開催の取締役会の決議に基づき、同年12月5日、1株につき11円の中間配当を実施いたしました。

取締役・監査役

(2017年6月28日現在)

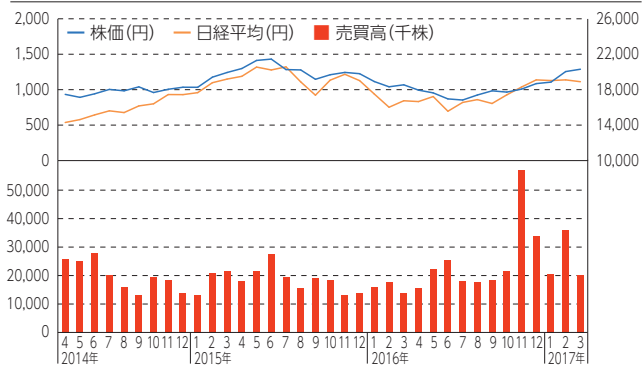
代表取締役会長	玉村 和己	常勤監査役	清水 健二
代表取締役社長	茅本 隆司	常勤監査役	平間 恒彦
代表取締役副社長	畑山 薫	監査役	小森 晋
代表取締役副社長	嘉戸 廣之	監査役	立花 一人
取締役専務執行役員	柴田 柳一		
取 締 役	末 啓一郎		
取 締 役	田中 克子		

執行役員(取締役兼務者を除く)

(2017年6月28日現在)

専務執行役員	梅村 太郎	執行役員	佐伯 俊則
専務執行役員	風間 俊男	執行役員	高村 典利
専務執行役員	杉山 徹	執行役員	小野 達朗
常務執行役員	星野 秀一	執行役員	大河原隆広
常務執行役員	貫名 清彦	執行役員	青柳 俊之
常務執行役員	榎本 英人	執行役員	関 幸裕
常務執行役員	増田 耕	執行役員	鈴木 潤一
常務執行役員	大竹 一彦	執行役員	立川 俊洋
常務執行役員	杉浦 啓修	執行役員	澁谷 祐司
常務執行役員	吉村 秀文	執行役員	新藤 芳之
常務執行役員	尾山 二郎	執行役員	堀江 雅之
執行役員	上村 和久	執行役員	梅野 純
執行役員	長井 憲次	執行役員	一杉 守宏
執行役員	藤原 哲哉		

当社株価・売買高の推移



当社概要 (2017年3月31日現在)

設立	1936年(昭和11年)―芝浦スプリング製作所
創立	1939年(昭和14年)9月8日
資本金	170億956万6,312円
従業員数	4,887名 ※臨時従業員の年間平均雇用人員を含む
事業所	【本社】 横浜 【営業拠点】 横浜、北関東(群馬)、浜松、名古屋、大阪、 広島、福岡 【工場】 横浜(ばね/シート)、滋賀、群馬、豊田、厚木、 伊那、駒ヶ根(DDS/産機)、伊勢原、野洲

グループ概要 (2017年3月31日現在)

従業員数	20,560名 ※臨時従業員の年間平均雇用人員を含む
国内関連会社	32社
	うち連結子会社 17社
	持分法適用非連結子会社 2社
	持分法適用関連会社 2社
海外関連会社	51社
	うち連結子会社 18社
	持分法適用非連結子会社 2社
	持分法適用関連会社 3社

日本発条株式会社

〒236-0004 横浜市金沢区福浦三丁目10番地
電話 045-786-7511 <http://www.nhkspg.co.jp/>

株主メモ

- 事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 6月
- 基準日
・定時株主総会 3月31日
・配当金受領株主確定日 3月31日および
中間配当を行う場合は9月30日
- 単元株式数 100株
- 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関
同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081
東京都江東区東砂七丁目10番11号
電話 0120-232-711 (通話料無料)
- 公告方法 電子公告により行います。
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
<http://www.nhkspg.co.jp/>

【お知らせ】

- 株主様の住所変更その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取扱できませんのでご注意ください。
- 特別口座に記載された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記三菱UFJ信託銀行証券代行部にお問合せください。三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次いたします。なお、特別口座に記載された株式を売却するためには証券会社等に一般口座を開設し、特別口座から株式を振替えるお手続きが必要となります。ただし、下記3.にご説明します単元未満株式(100株未満の株式)については、証券口座に振替をせずに売買することが可能です。これについては三菱UFJ信託銀行にお申し出ください。
- 市場で売買できない単元未満株式につきましては、当社に対してご所有の株式を時価で売却すること(買取請求)、または単元株となるまでの不足株式数を当社から購入すること(買増請求)ができます。いずれのお手続きも口座を開設されている証券会社等にお問合せください。なお、特別口座に記載された株式については、三菱UFJ信託銀行証券代行部へお問合せください。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本店でお支払いいたします。



この冊子は植物油インキと再生紙を使用しています。